

GAPについてYの取り組み

- I. 顔が見える野菜。果物。の取り組み
- II. セブンファームの取り組み
- III. 今後の取り組み

アイワイフーズ株式会社
営業本部 青果事業部
総括マネージャー 久留原昌彦
2017. 9. 26

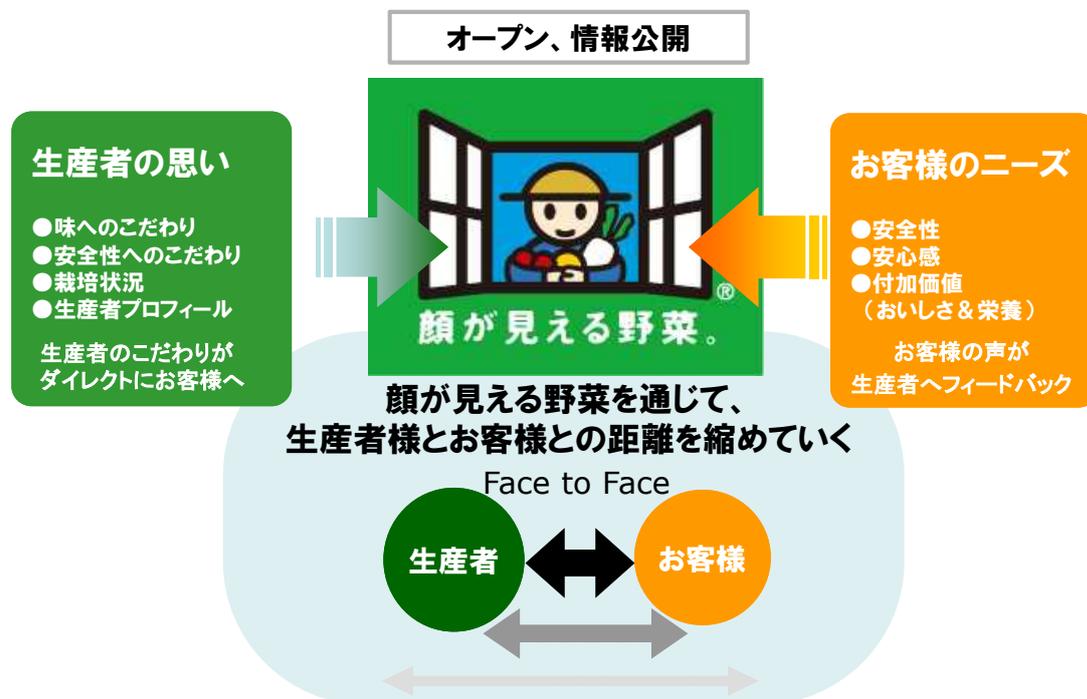
1

I. 顔が見える野菜。果物。の取り組み



お客様の食品業界に対する不信感を払拭するために、「顔が見える野菜。」では情報を公開し、透明な関係を構築していきます。

誰がどこでつくったものか、お客様が手に取る1つ1つの商品からわかることでお客様に安心して食べてもらいたい、同時に産地の情報や野菜の育ち方等の情報を発信することにより、お客様に野菜や産地に対する理解を深めていただき、生産者とお客様の距離を縮めていきたい、というのが私達の願いです。



2

1. 顔が見える野菜。果物。の取り組み



イトヨーカドーは食の安全が問題になりはじめた、2002年からこの取り組みを始めています。
野菜でスタートした企画ですが、今ではイトヨーカドーの生鮮食品全てに拡大しており、生鮮食品全体のプライベートブランドとして拡大しています。

登録生産者も年々増え、毎年約200～500名以上の方が新規でご参加されています。

顔が見える食品。

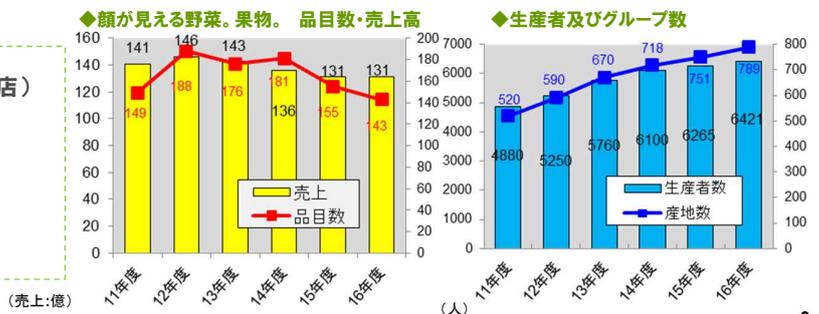
企画開始 : 2002年5月～「野菜」でスタート
現在の範囲 : 生鮮3品 (青果、精肉、鮮魚)に拡大



顔が見える野菜。果物。

販売店舗 : 約160店舗(イトヨーカドー全店)
取扱い品目数 : 約143品目

生産者数 : 全国 約6400名
産地数 : 約 790産地
(※2017年3月時点)



1. 顔が見える野菜。果物。の取り組み



静止画と動画を生産者のこだわりや産地状況の視点で公開、また、レシピ情報も定期的に配信しています。

<顔。商品例>



ID番号



QRコード

「顔が見える食品。」ブランドHP
・野菜・果物・お肉・たまご・お魚
・全体アクセス 12,000件/週
<http://look.itoyokado.co.jp/>

コンテンツメニュー

顔が見える野菜。果物。
5つの約束

入荷情報

生産者紹介

生産者紹介動画

レシピ動画

生産者紹介

①栽培のこだわり

②商品の特徴

③おすすめの食べ方

④生産者プロフィール

I. 顔が見える野菜。果物。の取り組み



顔が見える野菜。果物。ではGAP認証を積極的に推奨し基本化していく。

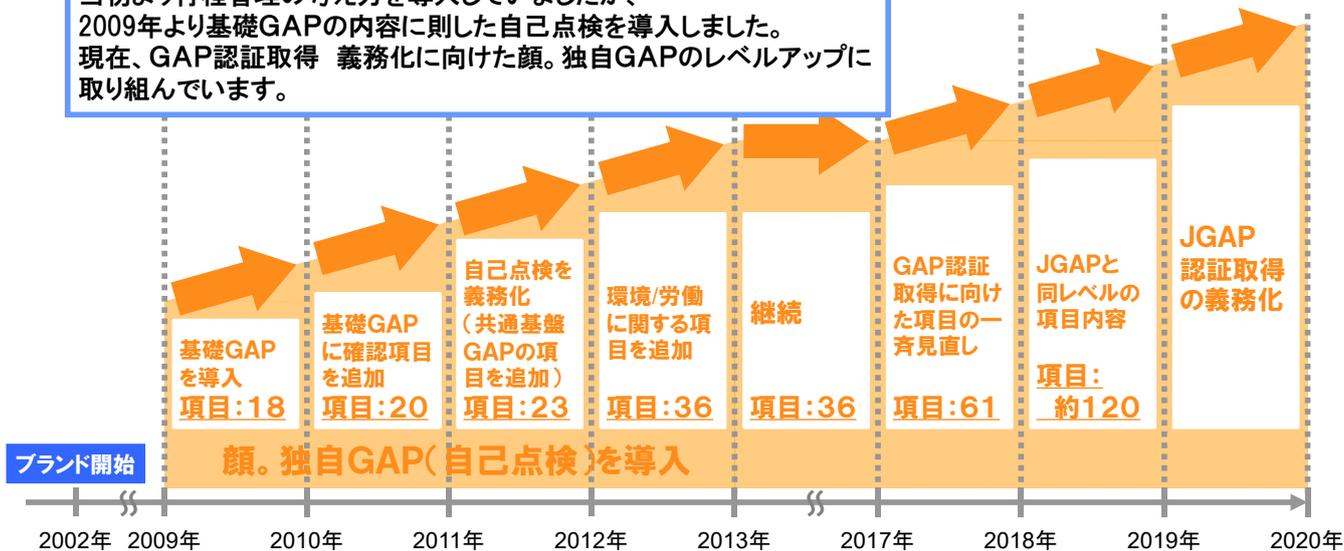
2017年
GAP認証
取得の推奨

取り組み
レベルの強化

【目標】
2019年
JGAP認証
取得



当初より行程管理の考え方を導入していましたが、2009年より基礎GAPの内容に則した自己点検を導入しました。現在、GAP認証取得 義務化に向けた顔。独自GAPのレベルアップに取り組んでいます。



II. セブンファームの取り組み



1. セブンファームの目的

①“リサイクルを進めていきたい”

+

②“農業のお手伝をしたい”

この2点を効率的に実現するために、セブンファームというスキームを開発/採用し、取り組みを拡大している。



しかし、最も重要なのは、日本の消費者や地域のお客様。

セブンファームを通じたお客様との交流や、農業現場を通じて得た農業や流通のノウハウを蓄積し、今後のサービス向上に繋げていきたいと考えている。

II. セブンファームの取り組み



2. セブンファーム 沿革

年	08年		09年		10年			12年			13年		14年		15年		16年		17年			
月	8月	9月	11月	12月	5月	7月	9月	10月	1月	4月	7月	10月	5月	7月	2月	3月	7月	9月	1月	8月		
内容	・株式会社セブンファーム富里 設立	・富里にて第一回農業体験ツアーを実施	富里 JGAP 認証取得	・農業業界向け展示会「アグロイノベーション2009」で紹介 「展示会「エコプロダクツ2009」で取組紹介／種まき体験を実施	・富里にてエコプロ企画「収穫体験」を実施	・株式会社セブンファーム 設立	・株式会社セブンファームつくば 設立	・株式会社セブンファーム三浦 設立	・株式会社セブンファーム深谷 設立	・セブンファーム北海道 設立	・セブンファーム東海 設立	GAP 普及大賞を受賞	・セブンファーム東京 設立	・セブンファーム新潟 設立	・セブンファーム湘南 設立	・セブンファーム銚子 設立	・食品産業優良企業賞 農水大臣賞を受賞	・セブンファーム新潟市 設立	三浦 JGAP 認証取得	・セブンファーム群馬 設立	・セブンファーム岐阜高山 設立	新潟 JGAP 認証取得
	<p>■2009年11月 株式会社セブンファーム富里 JGAP認証取得！</p> 							<p>■2012年7月 セブンファーム 顔が見える野菜。果物。 GAP普及大賞受賞！</p> 														

II. セブンファームの取り組み



株式会社セブンファーム

●セブンファームは現在14拠点に拡大。
栽培面積は合計約200ヘクタール。

農水省のGAP補助事業も活用して
本格的に取得支援を実施。
今年度新たに6箇所にて取得予定。



農業生産法人・・・出資先を全てセブンファームに一本化して行く
 事業会社方式・・・株主(生産者)地元行政などと調整して順次、
 拠点農場方式に切替えを実施
 拠点農場方式・・・新設含め今後のこちらに統一して行く
 ※申請・登記などの必要は無いが地元でのPR方法など別途検討の必要

II. セブンファームの取り組み



3. JGAP認証の取得

- セブンファームではGAPの考え方を導入、実践して安心安全への取り組みを強化してきた。
 - 更なる農産物の安全性の確保、農場の適正な経営などを旨し、2009年11月に「JGAP認証」を富里、つくば、北海道・三浦・新潟の各拠点農場で取得。
 - 今後も各セブンファームでの**JGAP認証取得を推進**していく。
 - 農業の現場にPDCAサイクルを意識的に持ち込み、生産経営システムの継続的な改善を目指す。
- ＜ハード面、ソフト面を整備(マニュアル、ルールの整理)＞



イトーヨーカドーの自営農場がGAPへの取り組みを推進することで、近隣生産者のGAPへの関心や意欲を高めることにも貢献していく。



東京五輪選手村における
食材調達の基準となる見込み。
安心・安全の指標として
今後、注目を浴びると思われる。

9

III. 今後の取り組み



GAP普及大賞



＜顔が見える野菜。果物。＞

JA、出荷組合を中心とした団体認証を中心に取り組み、顔。独自GAPのレベルアップに沿ってGAP認証の取得を支援して2020年度を目途にGAP認証を義務化する。



＜セブンファーム＞

現状の生産者に寄り添う形を取りながらも、各拠点ごとに「指導員」を育成し、生産者の自主的な取り組みを促す。
将来的にはセブンファームが事務局となり、各拠点ごとに団体認証に取り組んでいく。



**イトーヨーカ堂はGAP認証に取り組む
生産者を応援しています！**

10